

梅雨の時期の安全運転について

いよいよ梅雨の時期を迎えました。普段以上に慎重な運転が必要な時期です。事前の準備を万全にし、運転時も雨の日に起きやすい事故の原因を理解して事故防止に努めてください。

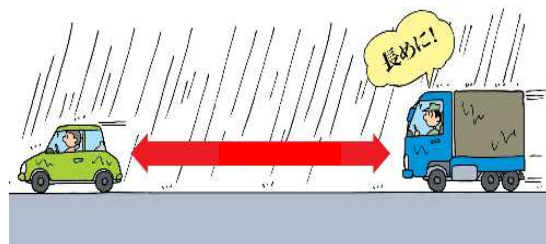
【運行前】

タイヤの摩耗・空気圧・ワイパーゴム等の確認、フロントガラスの油膜除去など、事前対策を万全に雨中走行に備えましょう。

【運行時】

① スリップによる事故 (75%が速度オーバー)

- ・急ハンドル・急ブレーキとまらない運転をするために速度を控えめにしましょう。
- ・濡れた路面は大幅に制動距離が伸びます。普段より長めに車間距離を取りましょう。

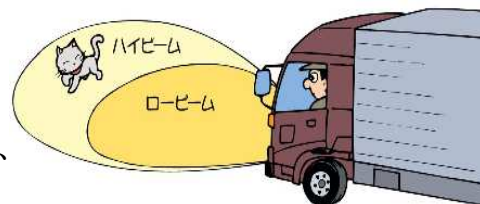


② 見えないことによる事故

- ・梅雨の時期は曇天で薄暗く、雨が降ると更に視界が悪化します。歩行者も傘をさして歩くため視線が下を向きがちです。お互いに気付きにくくなることにより事故が起こりやすくなります。
- ・雨の日は、歩行者等を積極的に発見するとともに、歩行者等からも発見されやすくなるよう早めにライトを点灯することで、危険の早期発見につなげましょう。
- ・ハイビーム、ロービームのこまめな切り替えも忘れずに行いましょう。

③ 心理負担による事故

- ・「視界の悪化」、「路面状況」、「渋滞」など普段以上にドライバーに負荷がかかります。慌てず、急がず、無理のない運転をしましょう。



④ バック時の安全確認を徹底

- ・雨天時はバック事故も増加します。雨に濡れたくないと窓を開けず、ミラーやバックカメラに頼った運転になりがちです。必ず窓を開け、目視による確認をし、安全が確認されなければ、降車して確認を徹底しましょう。